

天然ダムを対象にした大規模土砂災害 合同防災訓練



国、県、町が連携する防災訓練

台風12号による天然ダムの事例(奈良県野迫川村北股)

どなたでも御覧になれますので、どうぞ会場にお越しください。

大規模災害合同防災訓練 *早めの防災体制と連携を!* (平成22年度は、土岐市にて開催)

大規模土砂災害発生時の関係機関の連携強化を目的!

平成18年度の中津川市を皮切りに、これまで管内の5市町村において、順次合同防災訓練を実施してきました。平成22年度は土岐市において実施しました。

局地的集中豪雨で天然ダムや土石流が多発したとの想定

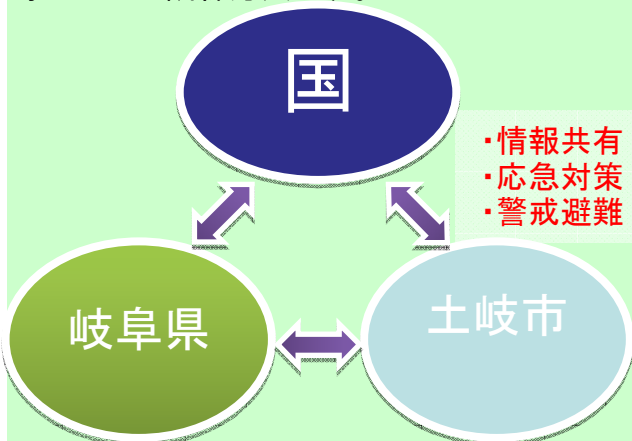
局地的集中豪雨により土砂災害が多発、情報共有を如何に行うか!

土石流、地すべり、河道閉塞が発生! 住民避難や応急対策の検討

二次災害防止のため国、県、市が連携し、関係機関の協力のもとに対応

■訓練方法(ロールプレイングとは)

ロールプレイング方式とは、役割演技法ともいい、コントローラー(進行側)が災害時のシナリオをプレーヤー(訓練に受ける側)に仕掛け、両者がそれぞれの役割を通じて、災害対応能力を高めていくことを狙いとした訓練方法です。



- ・情報共有
- ・応急対策
- ・警戒避難



台風と低気圧の影響によるゲリラ豪雨で発生した大規模土砂災害(同時多発的に発生する天然ダム、土石流及びがけ崩れ等)への対応を、ロールプレイング方式により、多治見砂防国道事務所と岐阜県、土岐市が合同で実施した防災訓練です。

災害時には、国、県、市が連携を取り対応